

2021年7月21日

ケミカルリサイクル原料プラスチックの調達について

三菱ケミカル株式会社

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之、以下「MCC」）は、日本最大級となるプラスチック油化のケミカルリサイクル設備の建設※¹に伴い、リファインバース株式会社（本社：東京都中央区、社長：越智 晶、以下「リファインバース」）から原料となる廃プラスチック（以下「原料プラスチック」）を調達する基本合意書を締結いたしました。

MCC およびリファインバースは、2020年8月に資本業務提携を行い、廃棄物の適切なリサイクルや有効利用の促進に向けた検討を継続しておりました※²。MCCはENEOS株式会社（本社：東京都千代田区、社長：大田 勝幸）と共同で、MCCの茨城事業所にケミカルリサイクル設備を建設し2023年度の完成を目指しています。MCC およびリファインバースは、当該設備向けの原料プラスチック収集や調達等における具体的な検討をさらに加速させるため、今般の基本合意書の締結に至りました。

今般の基本合意書に基づき、リファインバースでは、産業廃棄物や建設廃棄物等の幅広い対象から、ポリプロピレンやポリエチレンをはじめ、ポリスチレン、PET樹脂等の様々な種類の原料プラスチックを収集することを検討します。

MCCでは、プラスチックケミカルリサイクル設備の実装に向けて、マスバランス方式※³によるケミカルリサイクル品認証の取得および社会へのマスバランス方式の浸透を目指します。

MCCはサーキュラーエコノミーの実現に向けて、原料プラスチックの安定確保および透明性・信頼性の高い循環型サプライチェーンを実現するため、DX技術を活用したトレーサビリティの確保に向けた検討を進めます。

※¹ 当社およびENEOS株式会社プレスリリース「ENEOSと三菱ケミカル共同のプラスチック油化事業実施について」（2021年7月20日発表）

※² 当社プレスリリース「廃棄物リサイクル先進企業・リファインバース社との資本業務提携について」（2020年8月20日発表）

※³ マスバランス（物質収支）方式とは、石油由来原料と廃プラスチック由来のリサイクル原料を混合して製品が製造される際に、第三者認証を取得することで、使用したリサイクル原料の割合を任意の製品へ割当てる流通管理方式です。

以上

お問合せ先 三菱ケミカル株式会社 広報本部 TEL 03-6748-7161
--